

2021年9月28日

「ソーシャルファイナンス型シンジケートローン」の組成について ～地方銀行で初めての取組み～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2021年9月28日（火）、ジェネリック医薬品製造販売を行う高田製薬株式会社（代表取締役 高田 浩樹、本社：さいたま市南区）に対し、「ソーシャルファイナンス型シンジケートローン」の組成を行いましたので、お知らせします。なお、「ソーシャルファイナンス型シンジケートローン」の組成は、地方銀行で初めての取組みとなります。

高田製薬株式会社では、がんという国民的病気の克服、安心・安全な医薬品の安定供給を通じた患者への貢献などを目指し、埼玉県加須市に新たに「北埼玉工場2号棟」を建設することとなりました。

こうした社会課題解決に資する「北埼玉工場2号棟」建設にあたり、当行はアレンジャーとして「ソーシャルファイナンス^{注1}型シンジケートローン」を組成したものです。

今般の「ソーシャルファイナンス型シンジケートローン」は「ソーシャルローン原則」に適合したものとして、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターから客観的な評価（セカンドオピニオン）を取得しております。

併せて、本シンジケートローンには、広域連携「TSUBASAアライアンス」^{注2}の枠組みを活かし、当行を含むアライアンス参加行3行が参加しております。

当行では、今後も持続可能な地域経済および社会の実現や、脱炭素・気候変動といったグローバルな課題への対応に向け、今後も引き続き積極的に取組んでまいります。

注1 ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）及び Loan Syndications & Trading Association（LSTA）により 2021年4月に発行された、資金用途を社会課題解決プロジェクトに限定する融資組成原則である「ソーシャルローン原則」に適合するファイナンス

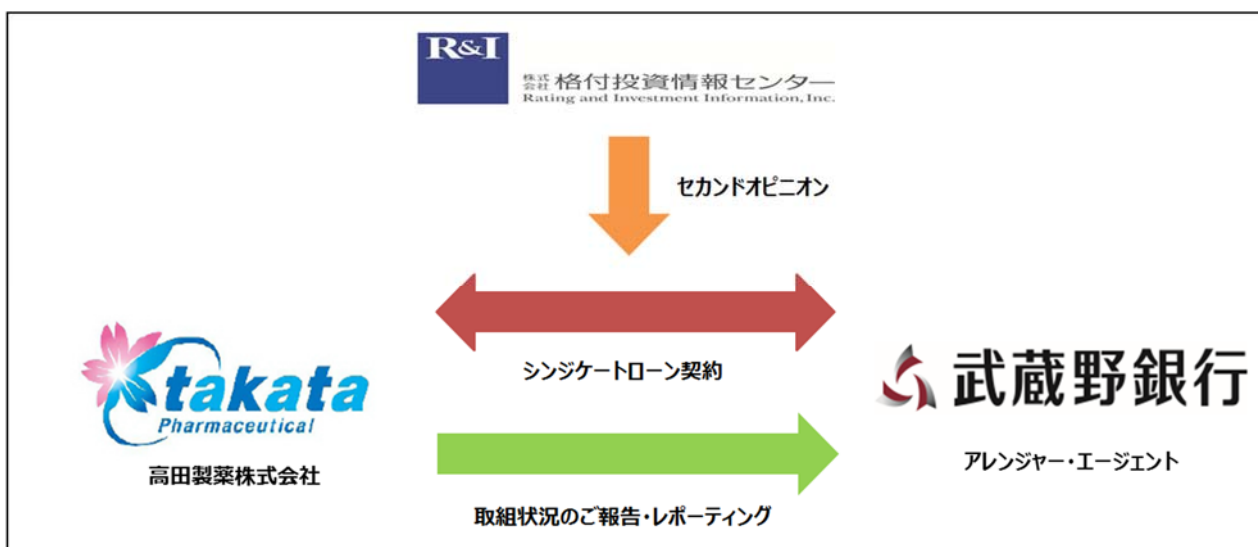
注2 千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み

1. ソーシャルファイナンス型シンジケートローンの概要

借入人	高田製薬株式会社
契約締結日	2021年9月28日（火）
アレンジャー・エージェント	武蔵野銀行
組成金額	45億円
資金用途	北埼玉工場2号棟建設資金
参加金融機関（50音順）	第四北越銀行、千葉銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行
第三者評価機関	株式会社格付投資情報センター

次頁へ

<スキーム図>



2. 高田製薬株式会社の概要

本社所在地	埼玉県さいたま市南区沼影 1 丁目 1 1 番 1 号
代表取締役	高田 浩樹
創業	1895年（明治28年）2月
資本金	10億8,884万円
売上高	260億円（2020年9月30日現在）
事業内容	ジェネリック医薬品製造販売等
生産工場	大宮工場、大宮第二工場、幸手工場、北埼玉工場
従業員数	795名

「北埼玉工場 2号棟」完成イメージ



報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 法人営業グループ 沼尻 一・小山 貴司
TEL (048) 641 - 6111 (代)

以上